

# 平成29年救助統計



北見地区消防組合

# 目次

1 救助業務の概要・救助出動の状況	… P 1
2 地区別救助事案発生件数	… P 2～3
3 救助活動の状況（活動時間推移）	… P 4
4 医師要請及びドクターカー・ヘリ要請の状況	… P 5
5 救出された要救助者の傷病程度	… P 6
6 交通事故の出動状況	… P 7
7 水難事故及び水難救助隊の出動状況	… P 8
8 風水害等自然災害の出動状況	… P 9
9 機械による事故の出動状況	… P 10
10 建物等による事故の出動状況	… P 11
11 ガス及び酸欠事故の出動状況	… P 12
12 その他の事故の出動状況	… P 13

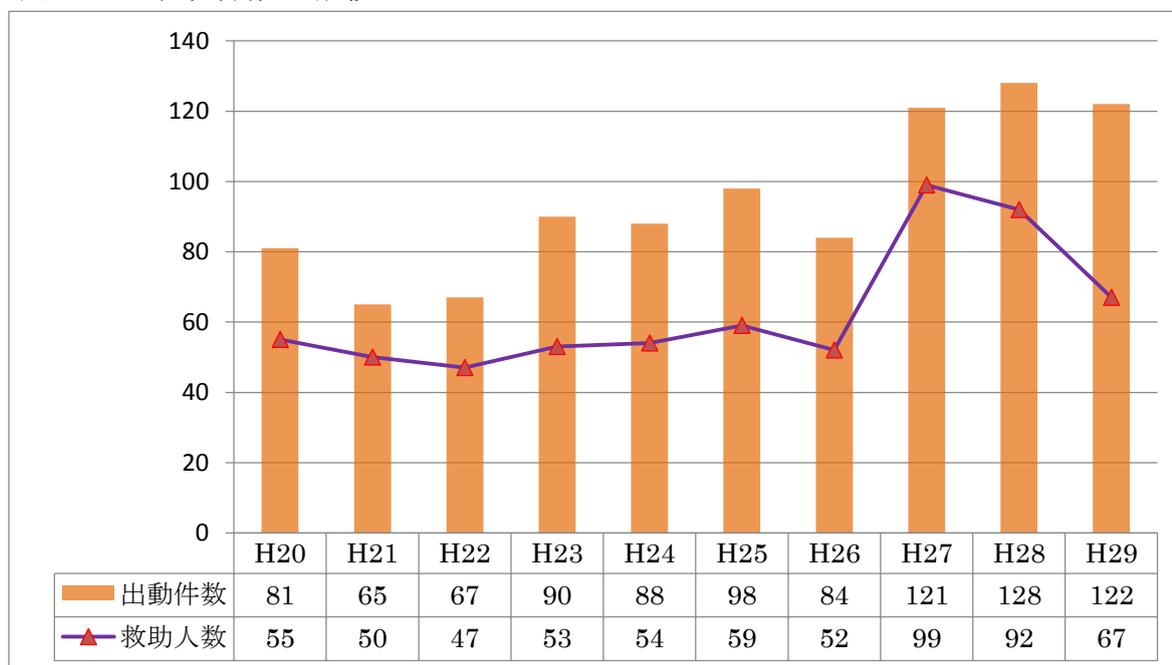
# 1 救助業務の概要

北見地区消防組合消防署救助隊は、火災、交通事故、水難事故、地域の特異性に応じた自然災害などから、生命・身体の危険を排除し、安全・確実・迅速に救出することを目的としている。当消防組合は石北峠からオホーツク海に面する東西約110km、約2145.63km<sup>2</sup>に及ぶ広大な地域を管轄しており、救助隊及び各支署に配備されている救助資機材で各種出動事案に対応している。

救助出動の状況（出動件数、救助人数の推移）

北見地区消防組合の救助出動件数は122件で、前年と比較して6件減少しており、救助人数67人で前年と比較して25人の減少となっている。（図1-1）

図1-1 救助件数の推移



## 2 地区別救助事案発生件数

平成29年中の救助出動件数は122件。前年と比較し6件減少している。(表2-1)(表2-2)

建物による事故が43%、交通事故が42%を占め、次にその他の事故が6%、機械による事故が4%、ガス酸欠事故が3%、水難事故が2%となっている。(図2-1)

表2-1 構成市町別救助事案発生件数

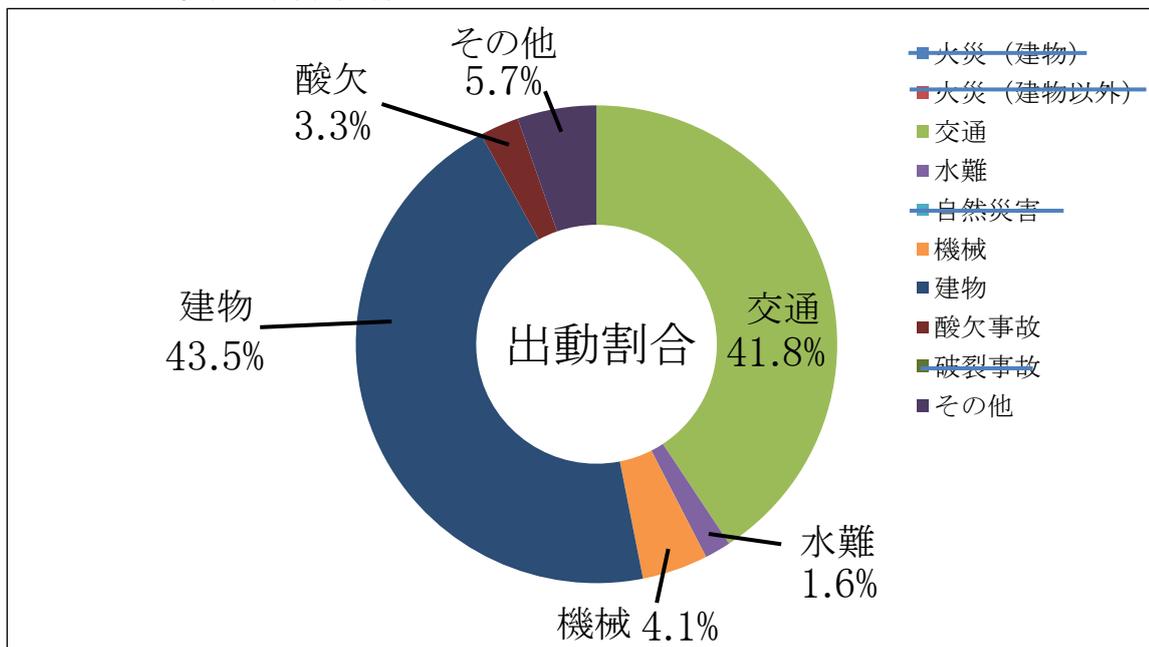
構成市町別	事故種別	火災		交通	水難	災害自然	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他	計
		建物	建物以外									
合	出動件数	0		51	2	0	5	53	4		7	122
	増減数	△1		△1	0	△9	△2	12	△3		△2	△6
	活動件数	0		31	2	0	1	25	1		3	63
	増減数	△1		△5	0	△4	△4	△3	△5		△2	△24
計	救助人数			39	2	0	1	21	1		3	67
	増減数			△9	0	△4	△4	△1	△6		△1	△25
北	出動件数	0		46	2	0	5	51	3		6	113
	増減数	△1		△3	1	△9	△2	11	△3		△1	△7
	活動件数	0		27	2	0	1	23	0		3	56
	増減数	△1		△6	1	△4	△4	△4	△6		△1	△25
見	救助人数			35	2	0	1	19	0		3	60
	増減数			△8	1	△4	△4	△2	△7		0	△24
置	出動件数			3							1	4
	増減数			2							0	2
	活動件数			2								2
	増減数			1								1
戸	救助人数			2								2
	増減数			1								1
訓	出動件数			2	0			2	1		0	5
	増減数			0	△1			1	0		△1	△1
子	活動件数			2	0			2	1		0	5
	増減数			0	△1			1	1		△1	0
府	救助人数			2	0			2	1		0	5
	増減数			△2	△1			1	1		△1	△2
管	出動件数			0								0
	増減数			△1								△1
	活動件数											
	増減数											
外	救助人数											
	増減数											

※組合内の出動件数につき、管外の出動は合計に含めないものとする。

表2-2 北見市自治区別救助事案発生件数

自治区別	事故種別	火災		交通	水難	災自 害然	機 械	建 物	ガ酸 ス欠	破 裂	そ の 他	計
		建物	建物以外									
北見	出動件数			34	2		2	47	3		6	94
	活動件数			21	2		1	19	0		3	46
	救助人数			27	2		1	17	0		3	50
端野	出動件数			3			1	1				5
	活動件数			1			0	1				2
	救助人数			2			0	1				3
常呂	出動件数			2			1	1				4
	活動件数			1			0	1				2
	救助人数			1			0	0				1
留辺 蘂	出動件数			7			1	2				10
	活動件数			4			0	2				6
	救助人数			5			0	1				6

図2-1 事故種別出動割合



### 3 救助活動の状況（活動時間推移）

平成29年中の救助活動有りの件数は63件。前年と比較し24件減少している。現場到着の平均時間は6.2分（最先着隊の到着、救急隊含む）、救出時間は平均6.8分を要した。（図3-1）（図3-2）

図3-1 現場到着平均時間割合

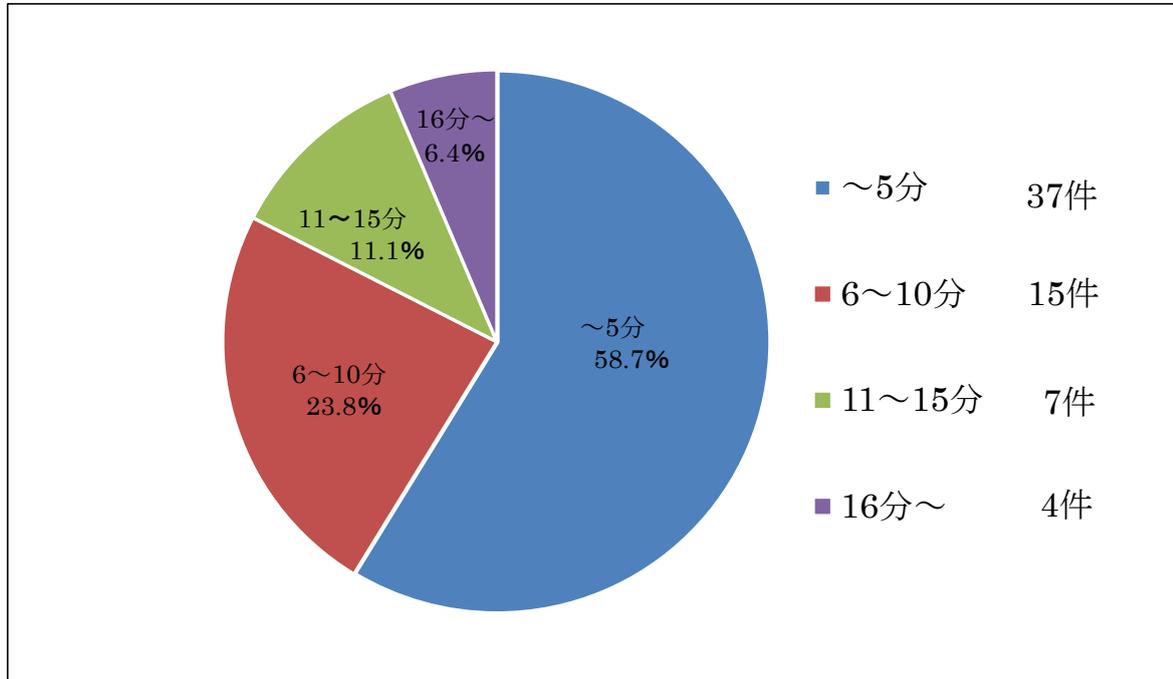
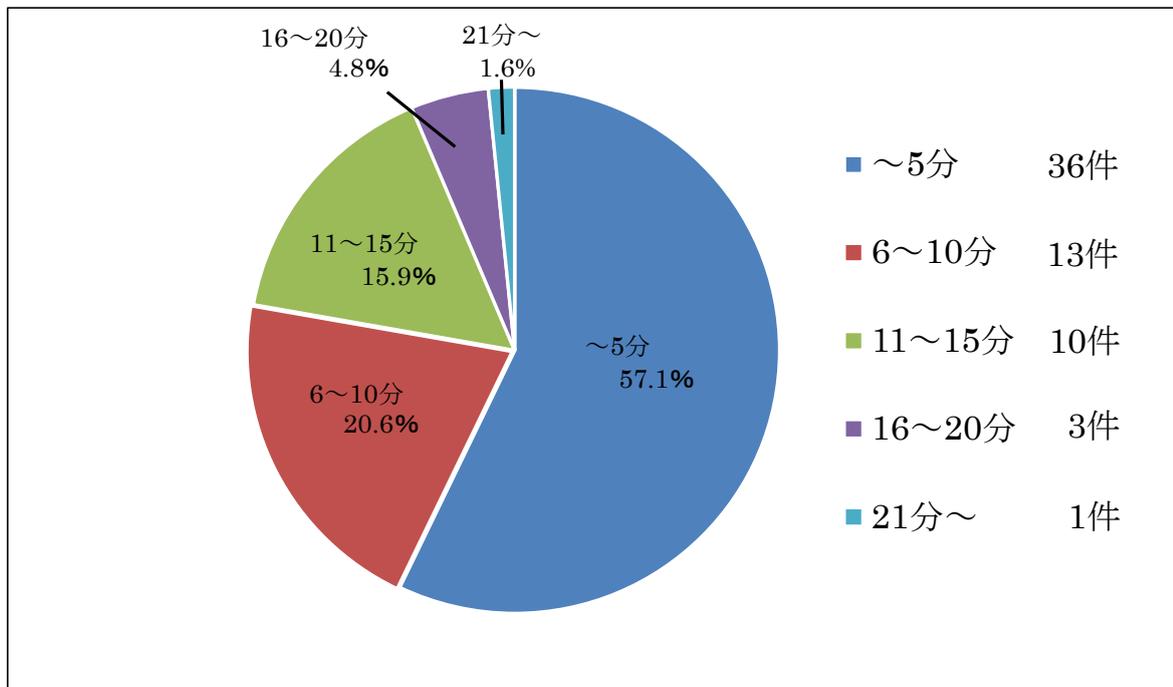


図3-2 救出時間平均割合



## 4 医師要請及びドクターカー・ヘリ要請の状況

平成29年中の救助出動事案に関わるドクターカー（医師要請）出動は4件。要救助者をいち早く医師の管理下におくため、天候や地理的な条件を考慮して早期にドクターカーまたは、ドクターヘリを要請する必要がある。（図4-1）

なお、医師搬送はすべてドクターカーによるものであった。

医師要請回数及び搬送回数(表4-1)、ドクターヘリ要請回数及び搬送回数(表4-2)、防災ヘリ要請回数及び搬送回数(表4-3)は、下表のとおりである。

図4-1 救助事案に関わる医師要請状況

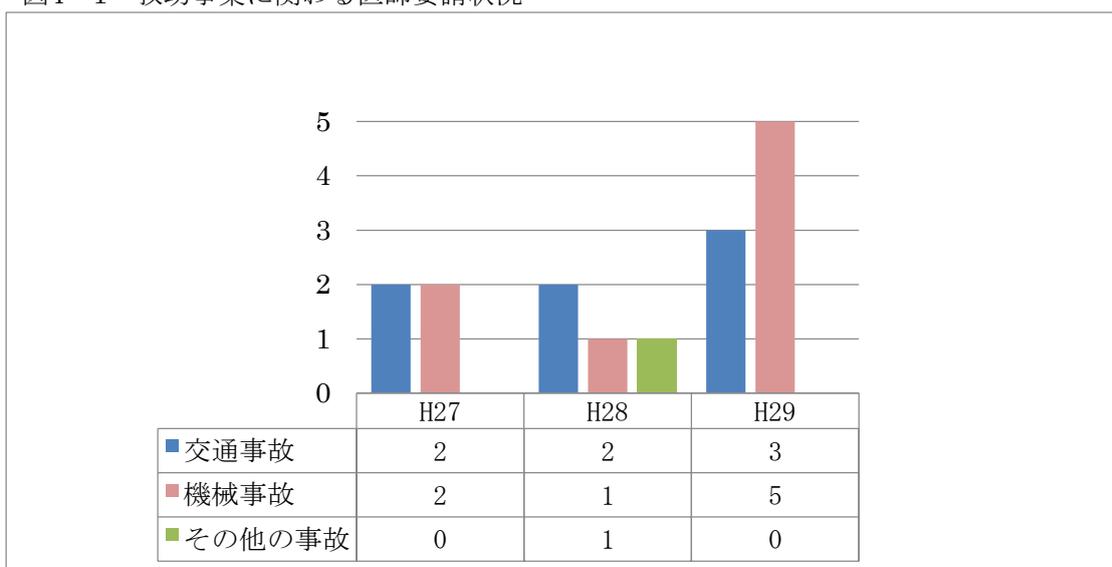


表4-1 医師要請回数及び搬送回数

	H27	H28	H29
医師要請回数	4	4	8
医師搬送回数	4	4	5

表4-2 Dr.ヘリ要請回数及び搬送回数

	H27	H28	H29
Dr.ヘリ要請回数	1	1	0
Dr.ヘリ搬送回数	0	1	0

表4-3 防災ヘリ要請回数及び搬送回数

	H27	H28	H29
防災ヘリ要請回数	1	0	1
防災ヘリ搬送回数	0	0	0

## 5 救出された要救助者の傷病程度

平成29年中の救出された要救助者は67人、交通事故58.2%、建物等による事故31.3%で、全体の89.5%を占めている。（図5-1）

死亡、重症、中等症の傷病者の割合の合計は52.2%、入院加療を必要としない軽症者は28.3%となっている。（表5-1）

図5-1 災害別要救助者数割合

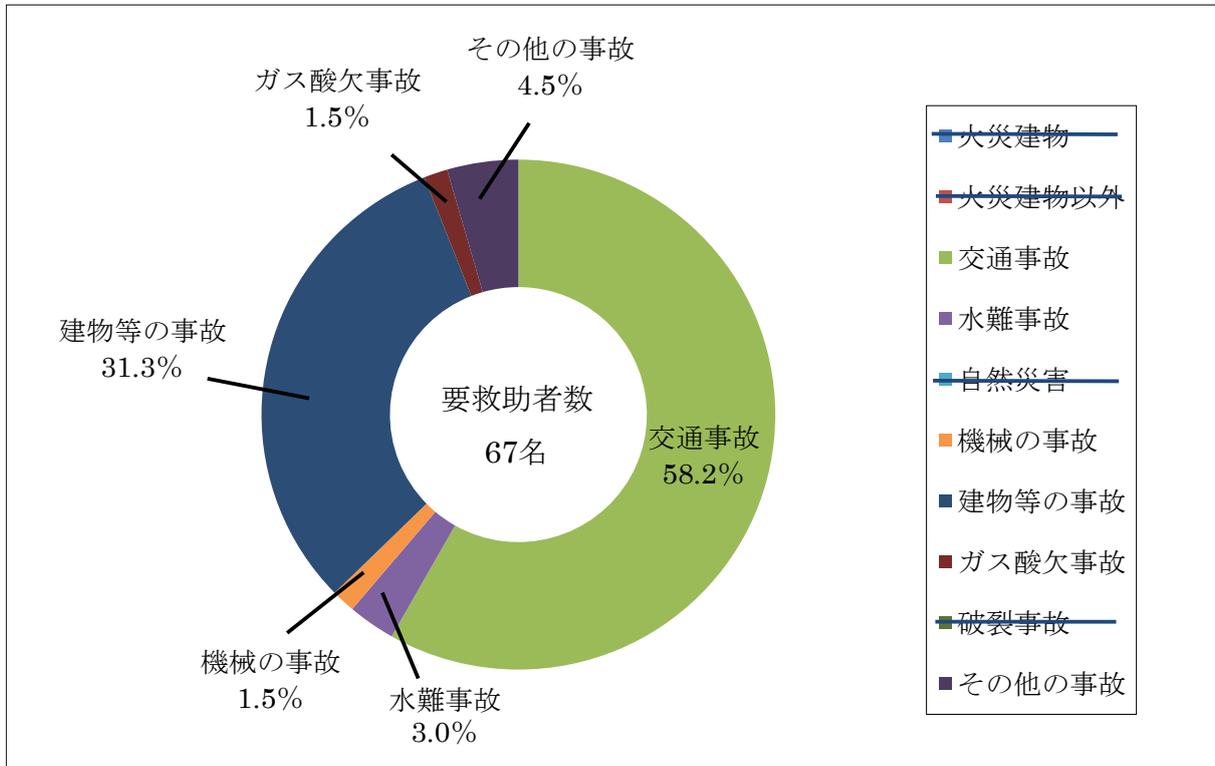


表5-1 災害別傷病程度

	死亡	重症	中等症	軽症	無し	合計
火災建物						0
火災建物以外						0
交通事故	2	4	11	17	5	39
水難事故	2					2
自然災害						0
機械の事故					1	1
建物等の事故	1	4	9	1	6	21
ガス酸欠事故					1	1
破裂事故						0
その他の事故	1		1	1		3
	6	8	21	19	13	67

死亡...初診時において死亡が確認されたもの。

重症...傷病の程度が3週間の入院加療を必要とするもの。

中等症...傷病者の程度が重傷又は軽症以外のもの。

軽症...傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

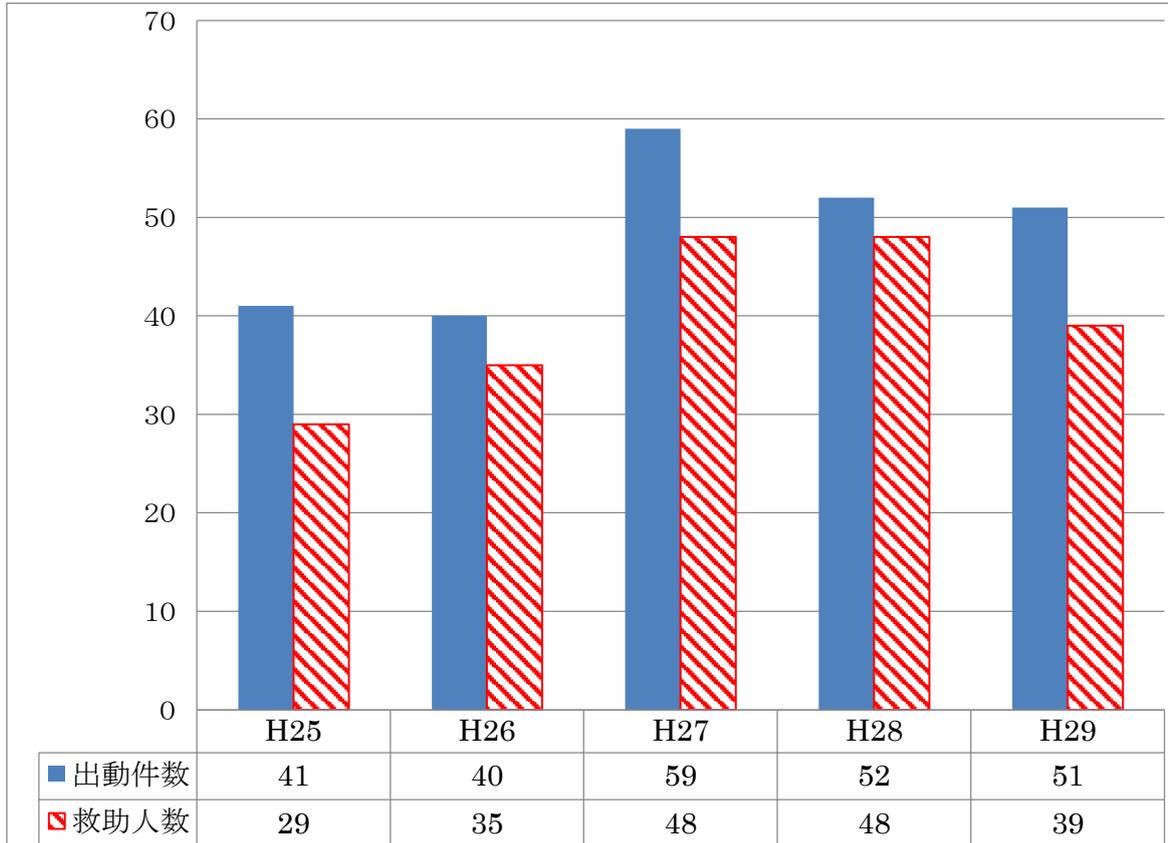
無し...負傷無し、不搬送含む。

## 6 交通事故の出動状況

平成29年中の交通事故による救助出動は51件で、前年と比較して1件減少している。また、救助人数は39人で前年と比べ9件減少であった。（図6-1）

交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単独事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

図6-1 交通事故の出動状況及び救助人数



## 7 水難事故及び水難救助隊の出動状況

平成29年中の水難事故は2件で、前年と同件数であった。また水難救助隊の出場はなく、前年と比較すると5件減少している。（図7-1）  
（図7-2）

当消防組合の管轄区域内における水難救助事故発生時の初動体制は、救助隊、消防隊、救急隊及び指揮隊による対応となる。

水難救助隊は、非番及び公代休の水難救助隊員へ覚知と同時に電話及びメールにより召集し、災害対応を取っている。

水難事故とは、水泳中の溺者又は、水中転落等による事故をいう。

図7-1 水難事故の出動状況及び救助人数

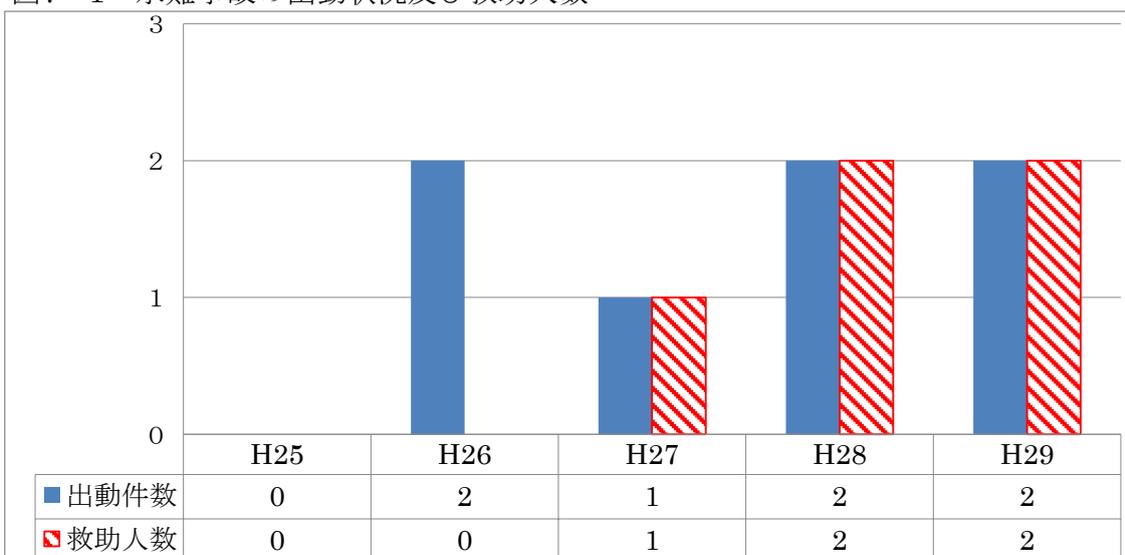
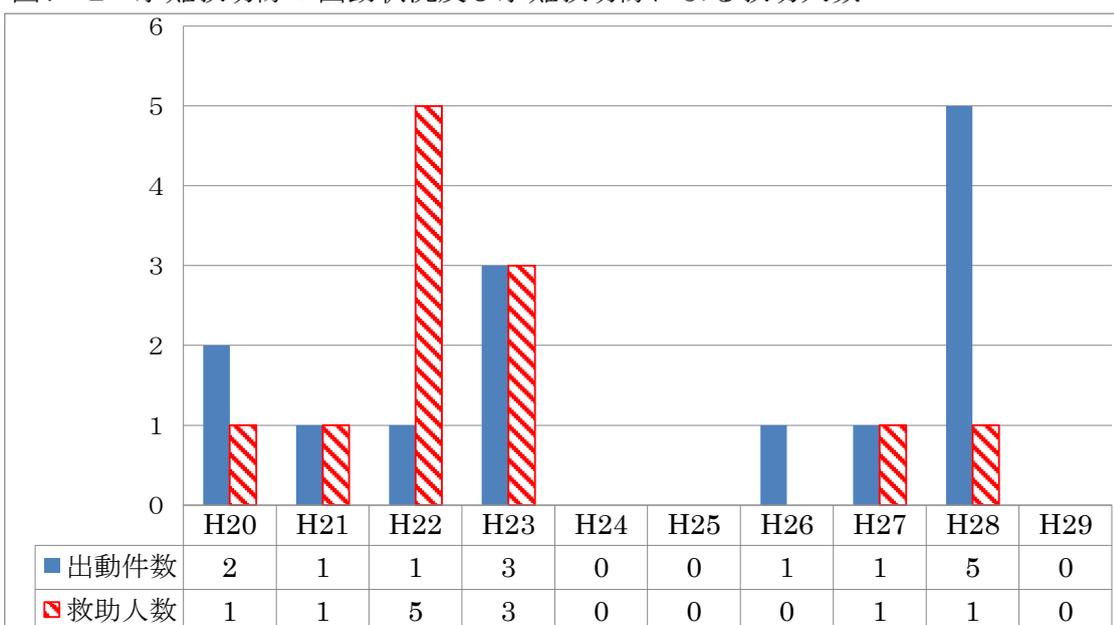


図7-2 水難救助隊の出動状況及び水難救助隊による救助人数



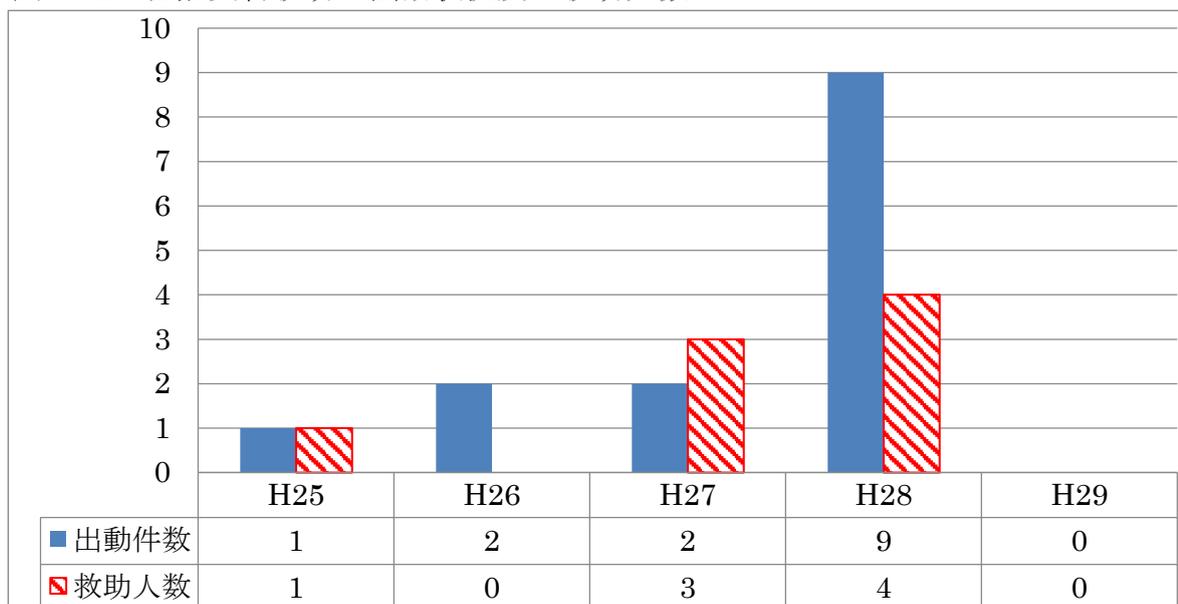
※水難事故事案以外(自然災害等)も含む

## 8 風水害等自然災害の出動状況

平成29年中の自然災害事故は37件であったが全て警戒種別であり、その内の救助出動はなかった。(図8-1)

風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地滑り、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

図8-1 自然災害救助の出動状況及び救助人数

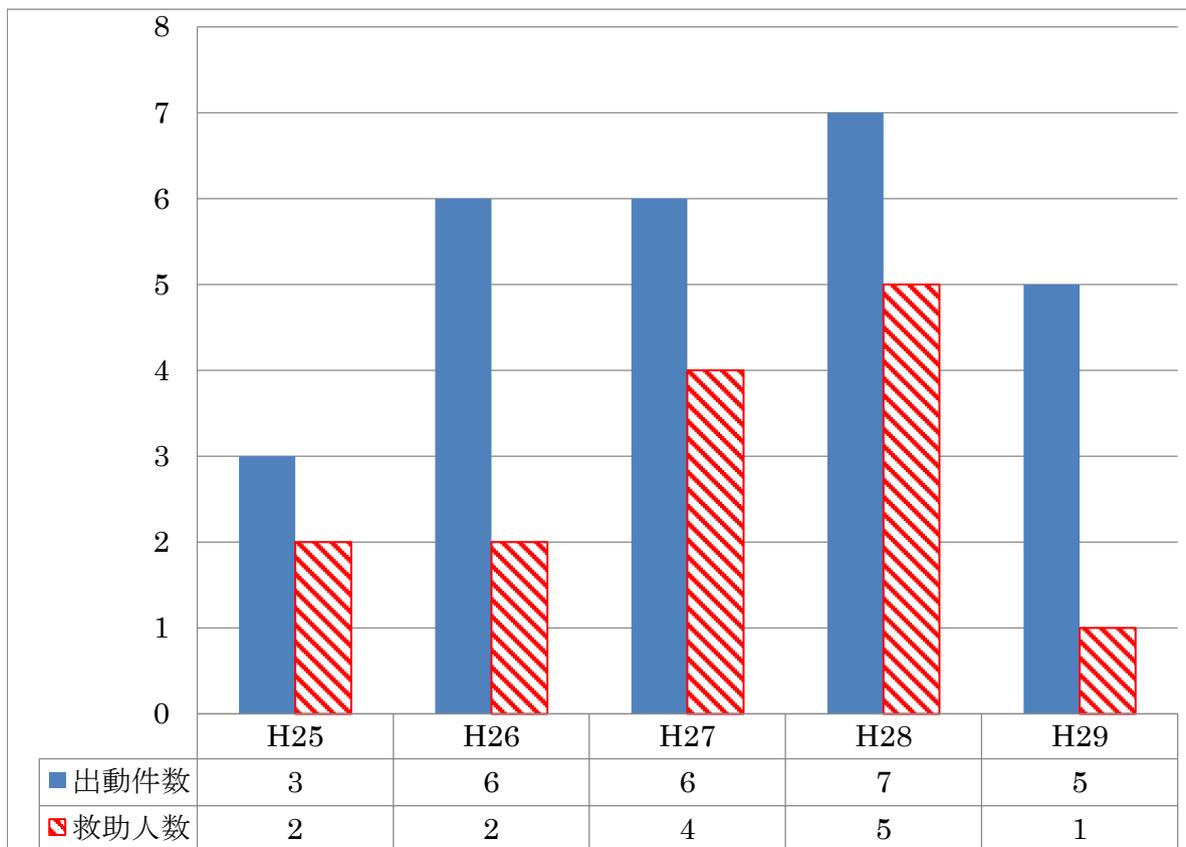


## 9 機械による事故の出動状況

平成29年中の機械による事故は5件で、前年と比較すると2件減少で、救助人数は1人で4人減少している。（図9-1）

機械による事故とは、エレベーター、エスカレーター、農業用機械、プレス機械、塵芥収集車、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

図9-1 機械による事故の出動及び救助人数

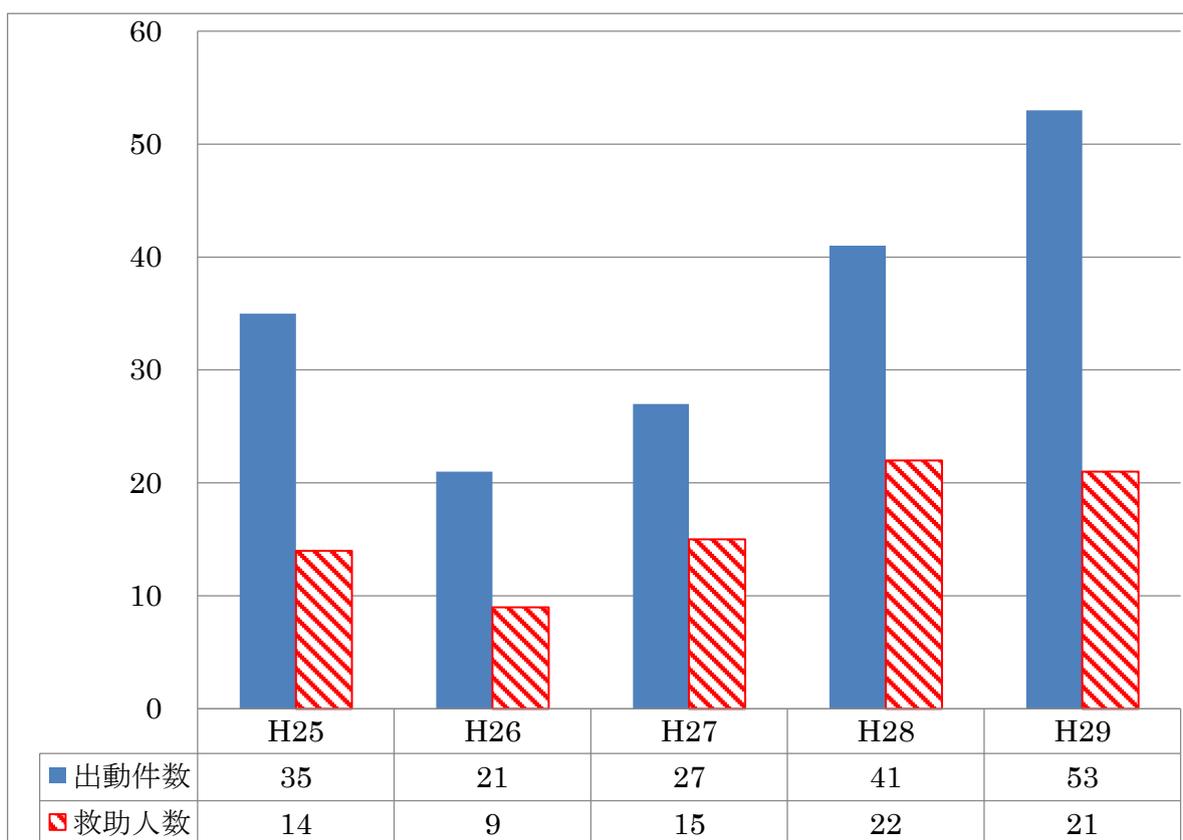


## 10 建物等による事故の出動状況

平成29年中の建物等による事故は53件で、前年と比較すると12件の増加で、救助人数は21人で1人減少している。（図10-1）

建物等による事故とは、建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

図10-1 建物等による事故の出動状況及び救助人数



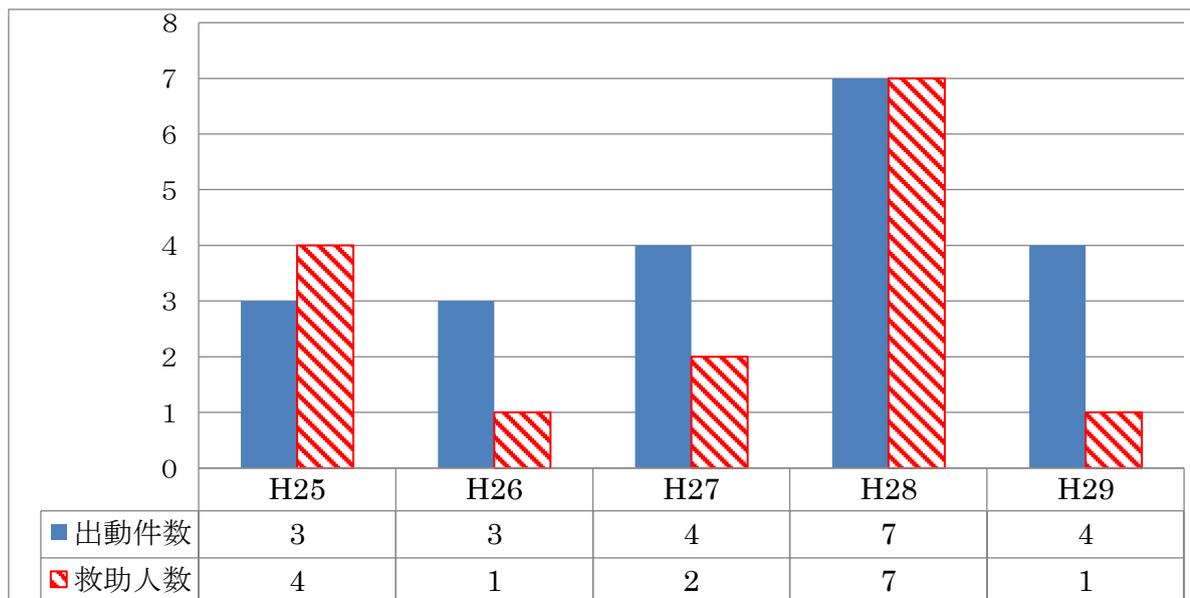
## 11 ガス及び酸欠事故の出動状況

平成29年中のガス及び酸欠事故は4件で、前年と比較すると3件減少で、救助人数は1人で6人減少している。（図11-1）

ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故をいう。

※車両、建物内の練炭等による事故も含まれている。

図11-1 ガス及び酸欠事故の出動状況及び救助人員



## 12 その他の事故の出動状況

平成29年中のその他の事故は7件で、前年と比較すると2件減少しており、救助人数は3人で1人減少している。（図12-1）

その他の事故とは、交通事故、水難事故、機械による事故、建物等による事故、ガス及び酸欠事故、破裂事故に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

図12-1 その他事故の出動状況及び救助人数

